

Case 5) 70歳代 男性

標的病変:右SFACTO病変

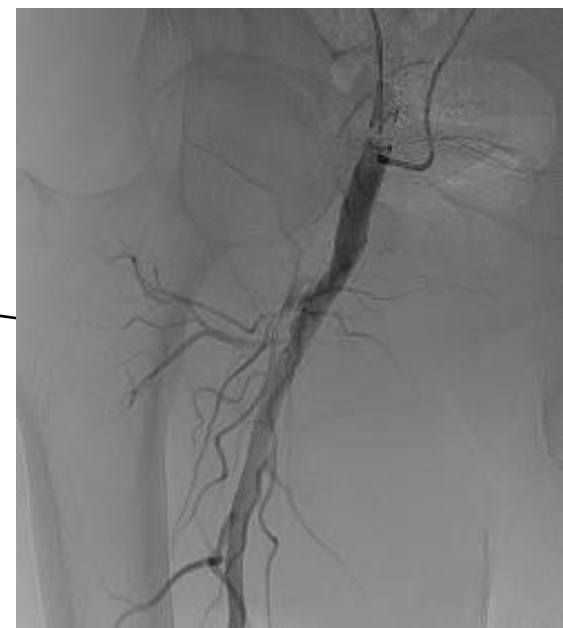
診断名: 閉塞性動脈硬化症

冠危険因子:糖尿病、高血圧、脂質異常症、**past smoker**

現病歴:糖尿病内科通院。両側間欠性跛行で紹介受診となった。ABIの低下があり、下肢動脈造影を行い両側SFA閉塞を認めた。症状の強い左SFAの治療を行い、今回右SFA CTOの治療を行う。

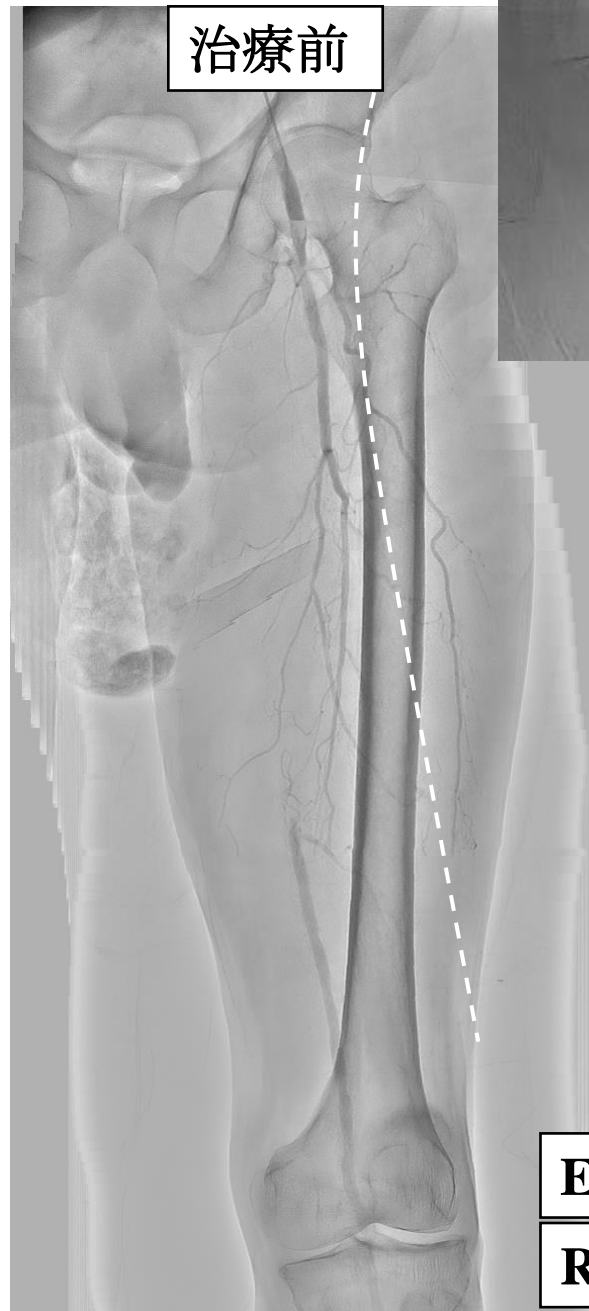
ABI rt 0.57 , lt 0.63→1.09 (左SFA治療前→後)

Cre 1.35mg/dl、 eGFR= 41.1mL/min/m²

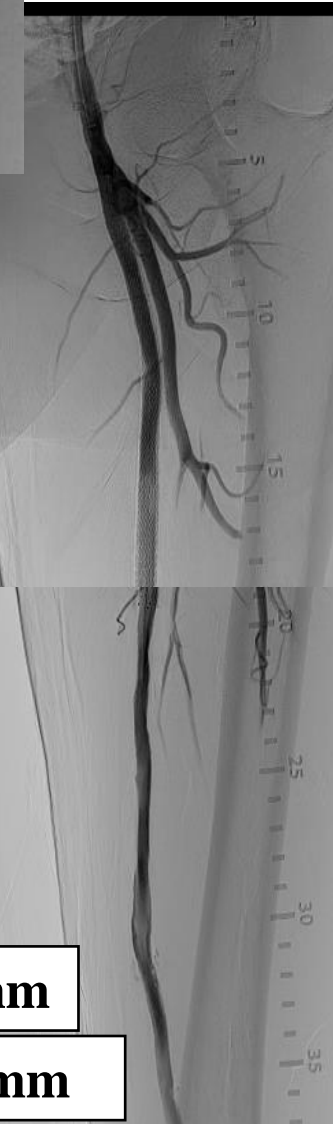


**Case 5) 標的病変:
右SFA**

左SFA CTOの治療



治療前



治療後

Eluvia 7.0*150mm

Ranger 6.0*150mm